
総合発展計画の概要及び亘理町の現況について

▶総合発展計画とは

以前は、地方自治法第2条第4項の規定により、市町村に対し、総合計画の基本部分である「基本構想」について議会の議決を経て定めることが義務付けられておりましたが、平成23年の自治法の改正により、基本構想の法的な策定義務がなくなり、策定及び議会の議決を経るかどうかは市町村の独自の判断に委ねられることとなりました。

亘理町議会基本条例では、総合発展計画の基本構想及び基本計画について、議会が重要な計画等の決定に参画する観点と、町長の政策執行上の必要性を比較考慮し、その決定にあたっては、議会の議決事件としております。

▶第5次亘理町総合発展計画の概要

第5次亘理町総合発展計画(平成28年3月策定)は、「また来たくなるまち・ずっとすみたくなるまち わたり」を基本理念とした、亘理町の町政運営の根幹となるまちづくりの目標を示す計画で、平成37年度(令和7年度)を目標年次として、将来像を実現するための次の5の施策の方向性を掲げております。

1. 持続可能なまちの基盤づくり
2. わたしとわたりのブランドづくり
3. とともに学び育て合う人づくり
4. 未来に続く健康づくり
5. 絆を深める自治づくり

第5次亘理町総合発展計画は、本町の町政運営の基本方針を示した基本構想と、平成32年度(令和2年度)までを計画期間とした前期基本計画及び平成37年度(令和7年度)までを計画期間とする後期基本計画で構成されております。

2. 第6次亶理町総合発展計画の構成

▶第6次亶理町総合発展計画について

現在の町の状況や今後の予測、様々な社会情勢の変化を視野に入れながら、**今後10年間で亶理町が目指すべき将来象(展望)**を掲げ、その実現に向けて、**取り組んでいくべき施策・事業を明確**にするとともに、亶理町に**関係するすべての主体が共有して進むべき方向性を示す**町の最上位計画です。

基本構想

●基本構想●

長期的な展望に基づき、亶理町が目指すべき将来像を掲げ、その実現に向けて取り組むべきまちづくりの方向性を示しています。

【計画期間】令和8(2026)年度～令和17(2035)年度

基本計画

●基本計画●

基本構想の実現に向けて、体系的に整理された推進すべき施策や事業を示しており、5年ごとに前期・後期計画となっています。

【前期基本計画期間】

令和8(2026)年度
～令和12(2030)年度

【後期基本計画期間】

令和13(2031)年度
～令和17(2035)年度

実施計画

●実施計画●

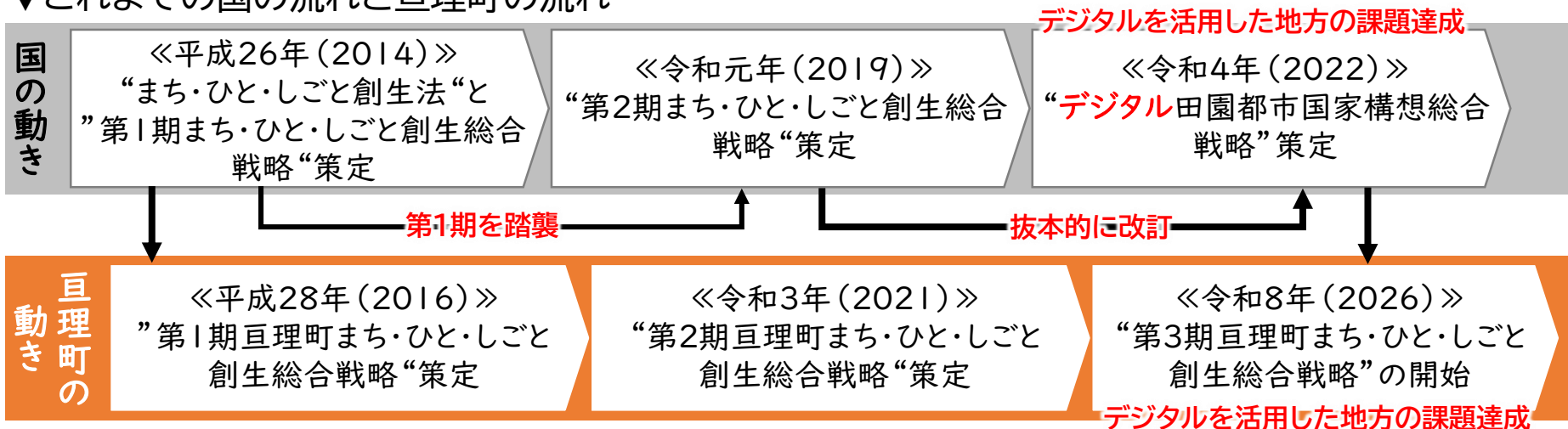
基本計画に示された施策・事業について、優先度や実効性を考慮しながら、具体的な内容や事業計画を示しています。

【計画期間】3年間の計画期間で、毎年度策定

▶第3期巨理町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

“第6次巨理町総合発展計画”は、今後10年間の町の将来像を実現するための多種多様な分野の施策や事業について定めた計画であるのに対し、“第3期巨理町まち・ひと・しごと創生総合戦略”は、その中でも**特に人口減少対策や地方創生に特化した計画**。

▼これまでの国の流れと巨理町の流れ



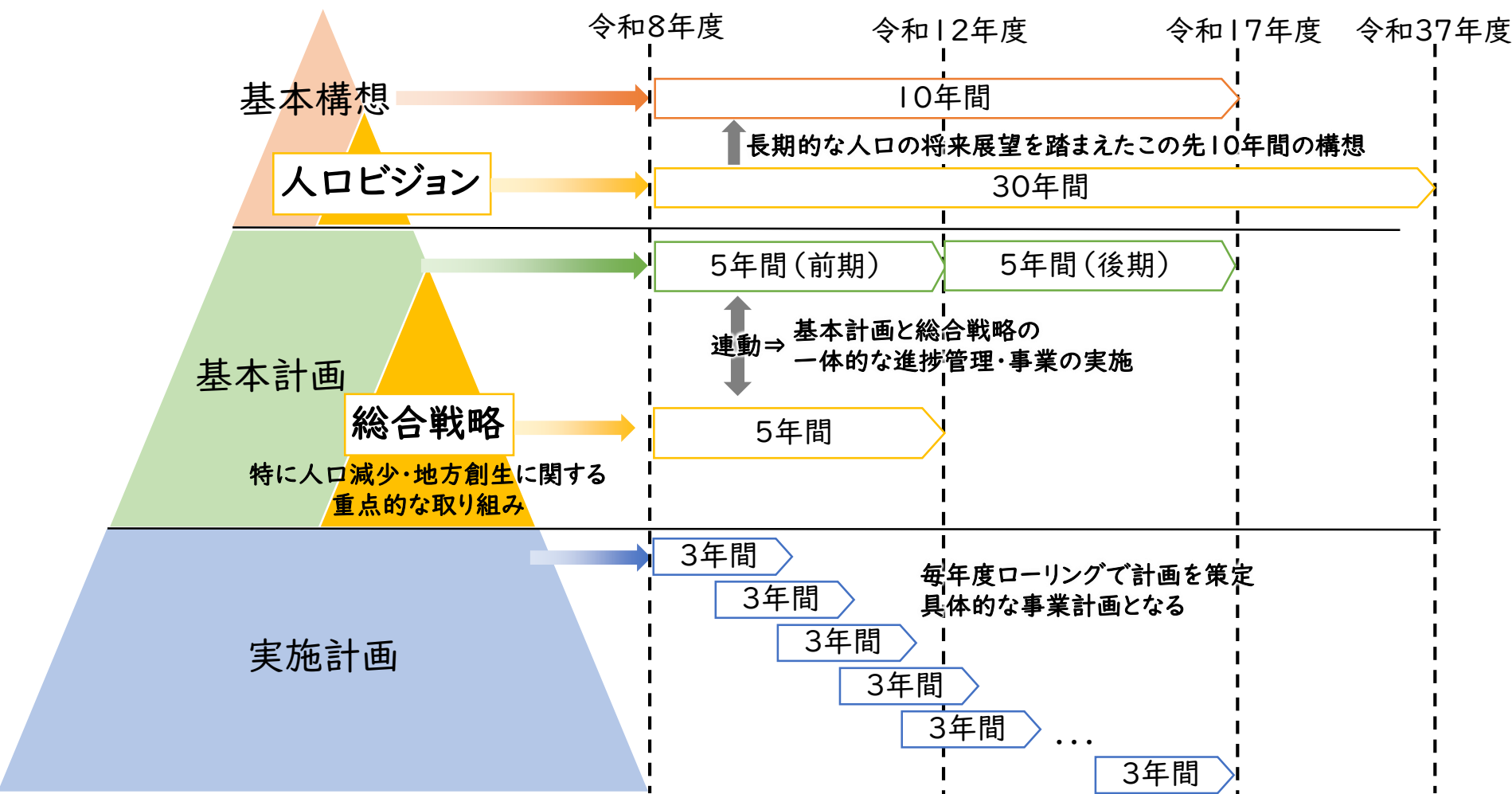
▶巨理町人口ビジョンとは

“巨理町人口ビジョン”は、町の人口に関する現状(出生や転入転出等の人の増減に関する動向など)を参考に、今後の人口推移を予測し、町が目指すべき人口の将来展望を示すビジョン。

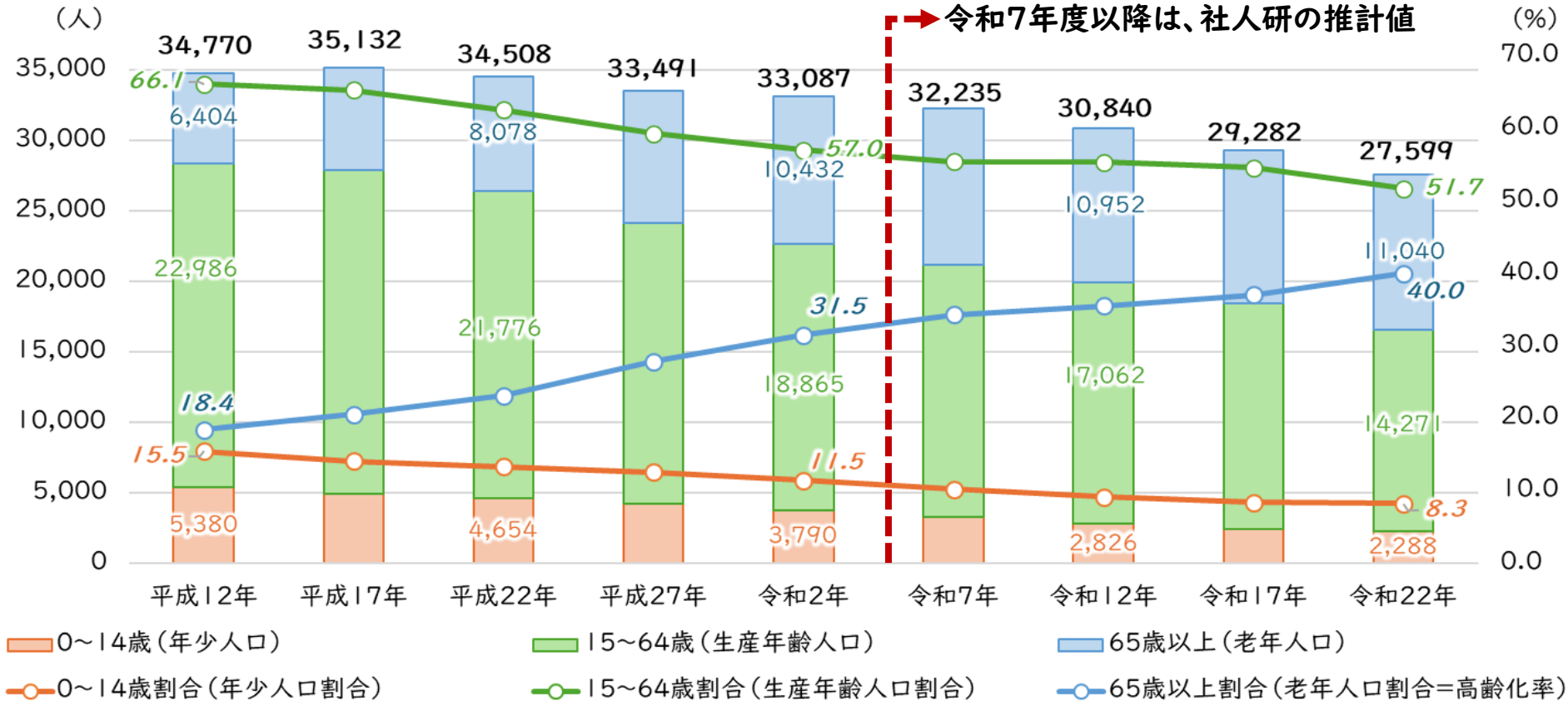
併せて、“第3期巨理町まち・ひと・しごと創生総合戦略”の実現に向けて、効果的かつ有効な施策を検討する上で重要な基礎資料となる。

▶各計画の体系の整理

第6次亘理町総合発展計画、第3期亘理町まち・ひと・しごと創生総合戦略、人口ビジョンの関係性については、以下の通りです。



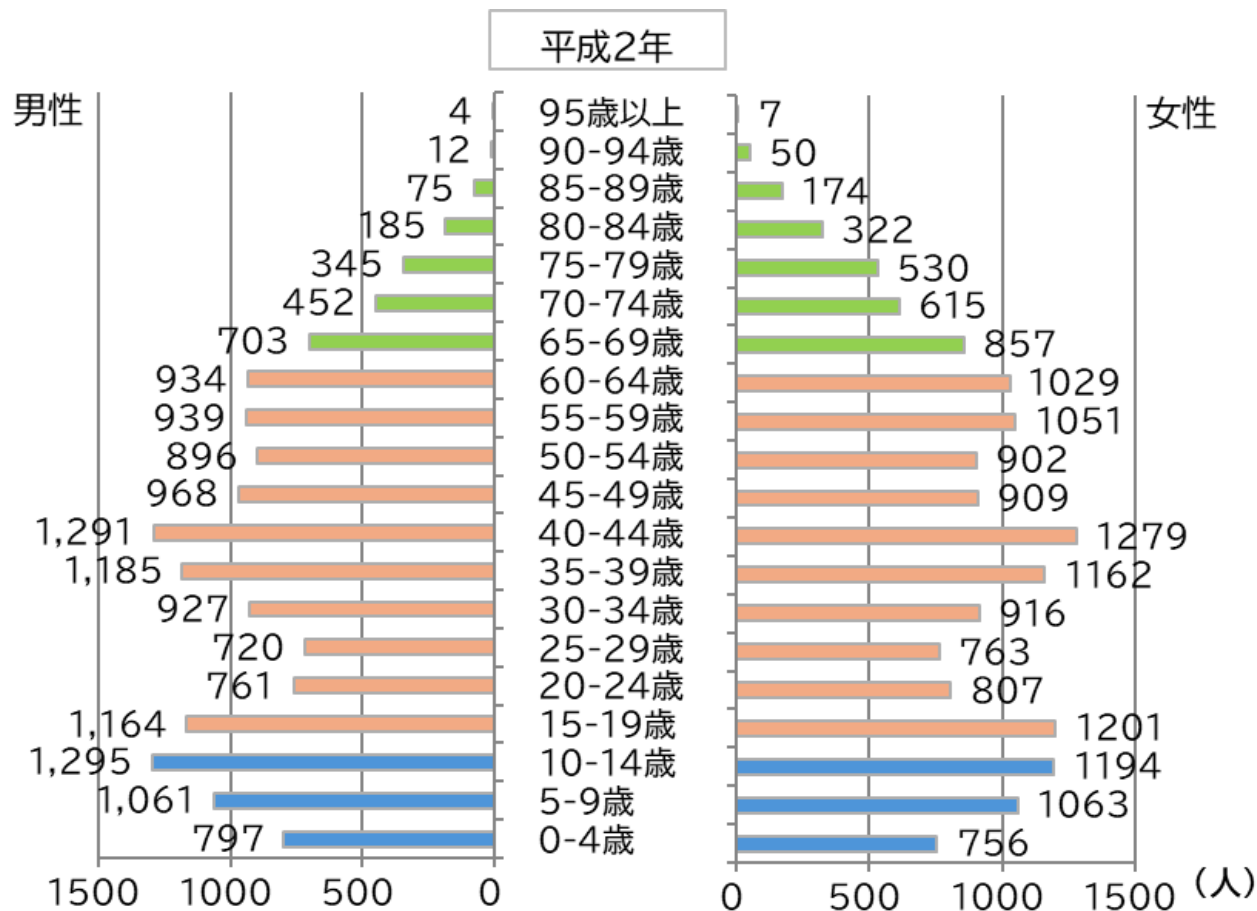
“人口・高齢化率の推移（一部推計を含む）”



出典: 国勢調査

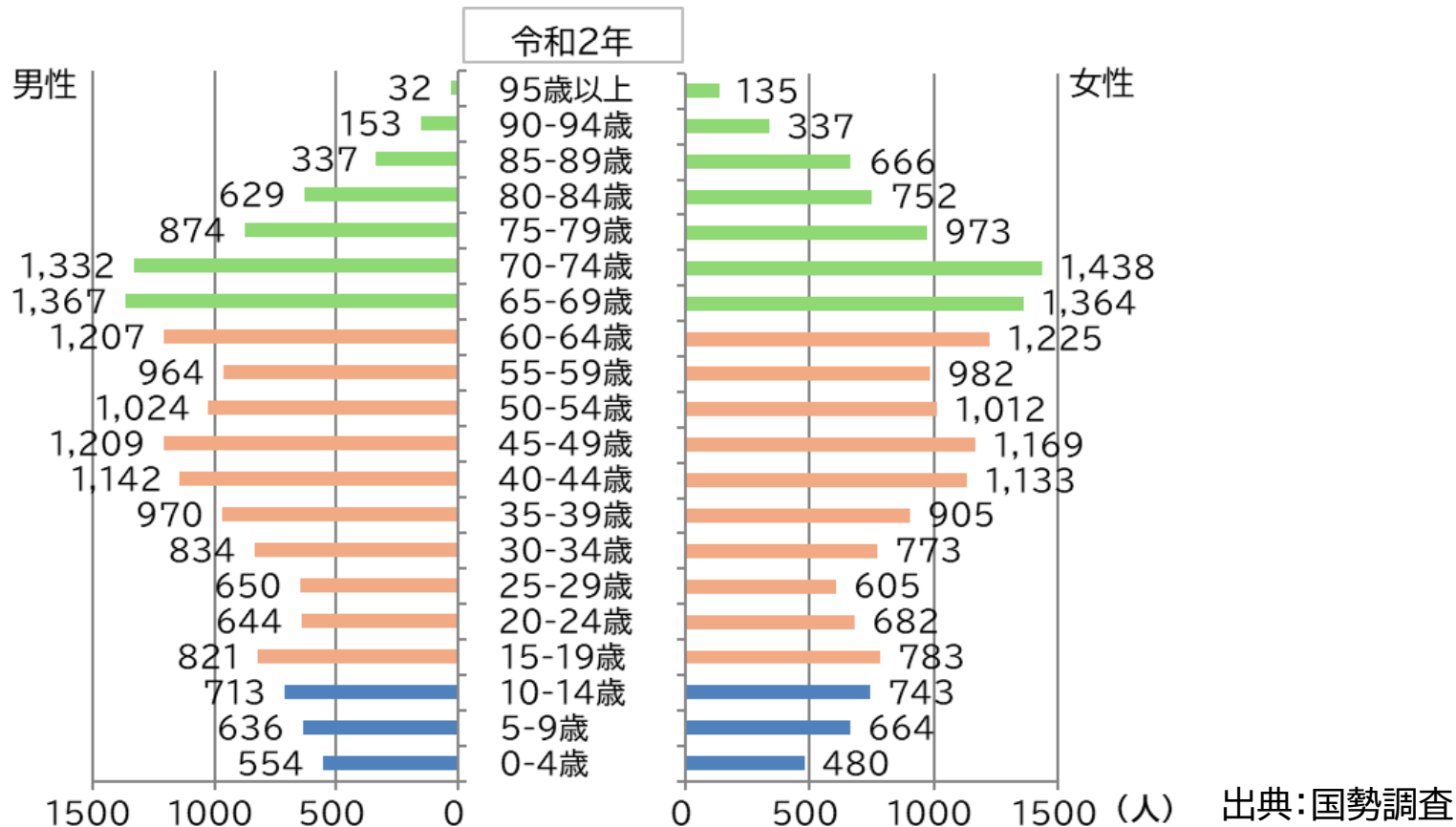
総人口は平成17年をピークに、その後は減少傾向にある。また、令和2年時点での高齢化率は31.5%であり、少子高齢化・人口減少の傾向は今後も続くと推計されている。(※令和5年度末では33.2%、県内23位)

“人口ピラミッド（平成2年）”



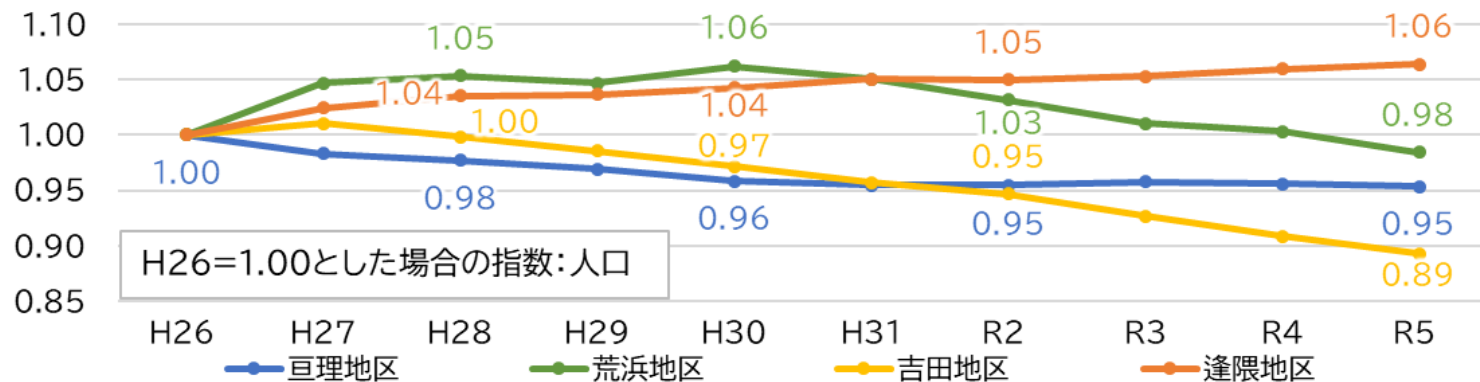
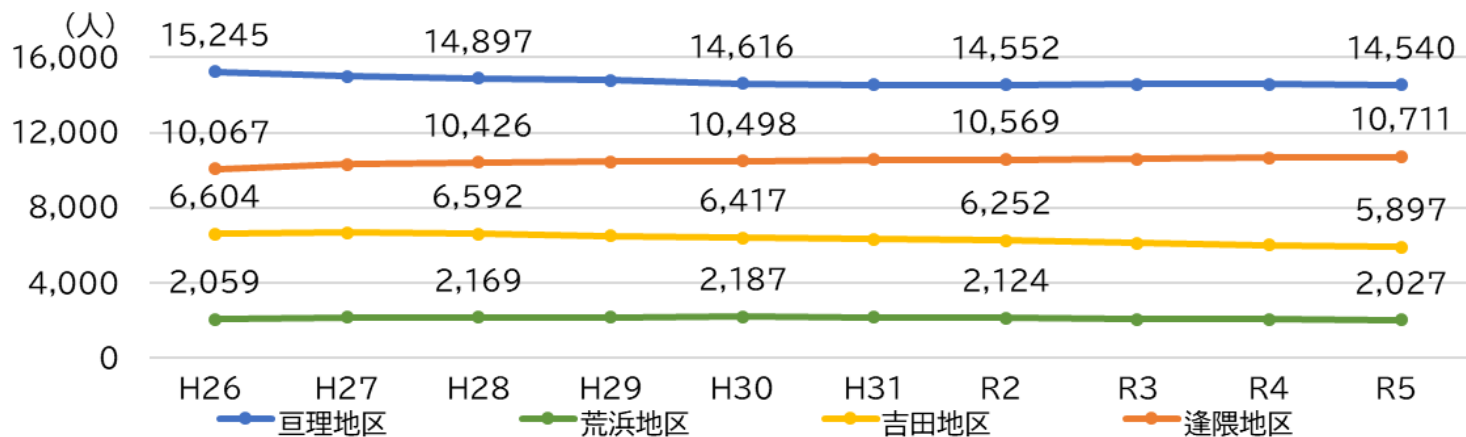
出典：国勢調査

“人口ピラミッド（令和2年）”



人口ピラミッドの形を30年ごとに比較すると、平成2年では「釣鐘型」だったのが、令和2年には底が縮んだ「つぼ型」に変化している。

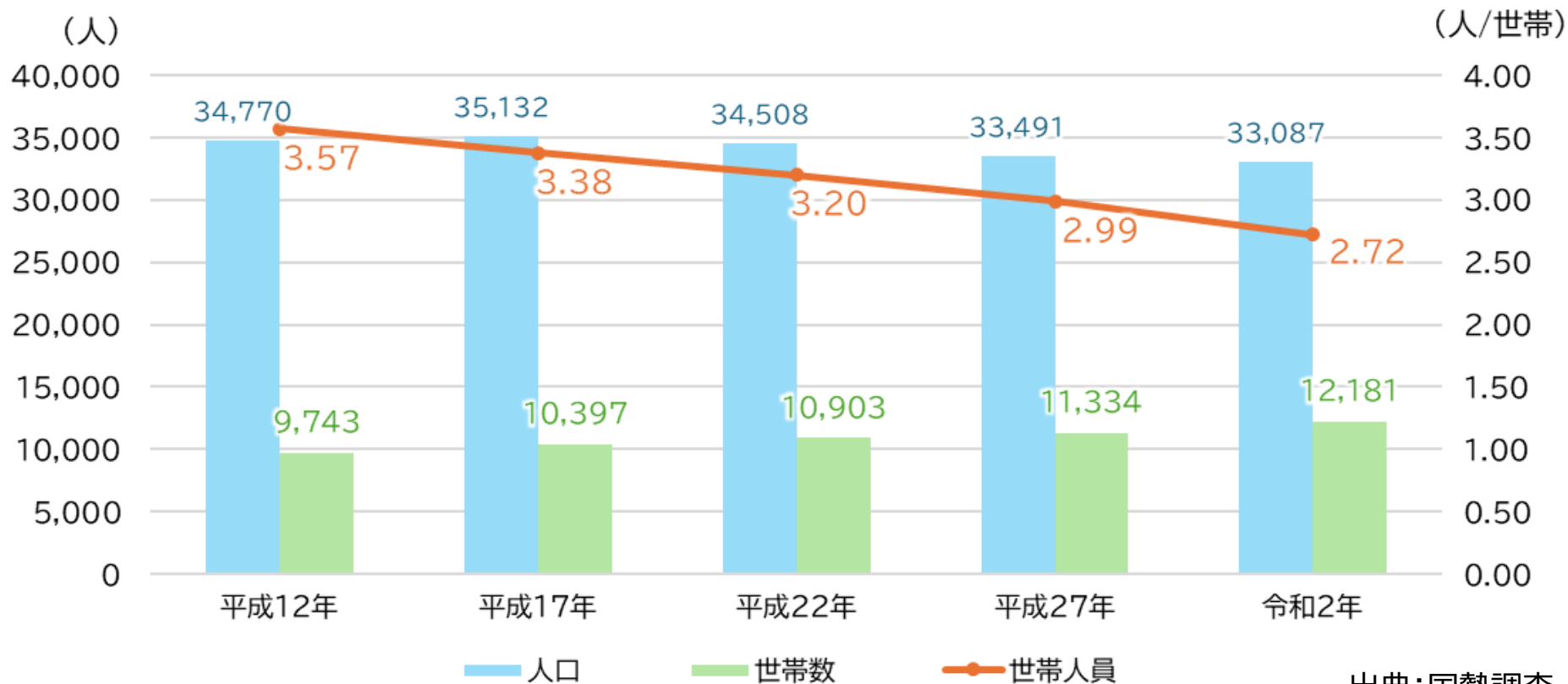
“各地区の人口”



出典: 亘理町HP

各地区の総人口は、逢隈地区を除くすべての地域で減少傾向にあり、特に吉田地区の減少が大きくなっている。

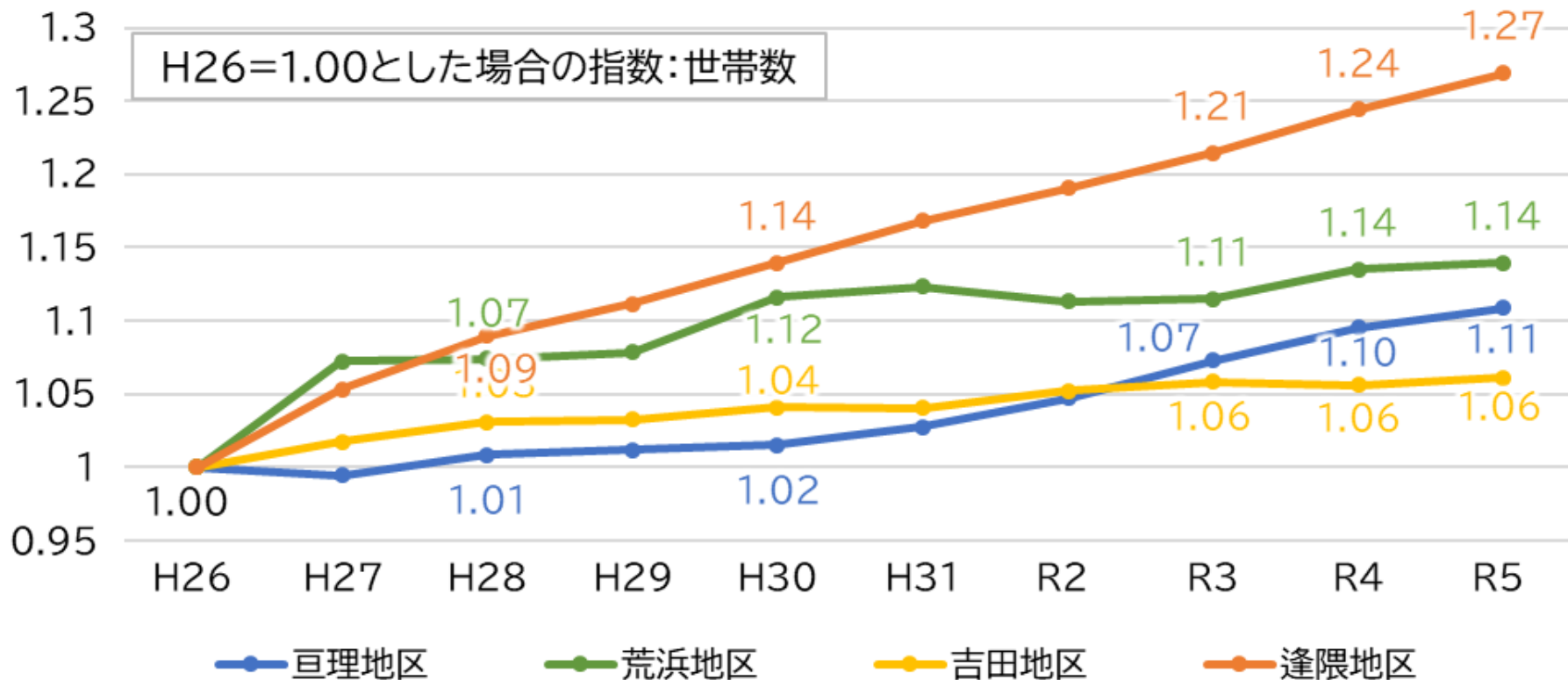
“世帯数・世帯人員の推移”



出典:国勢調査

令和2年の世帯数は12,181世帯であり、年々増加傾向にある。
総人口が減少しているが、世帯数が増加していることから、世帯人員が減少している。

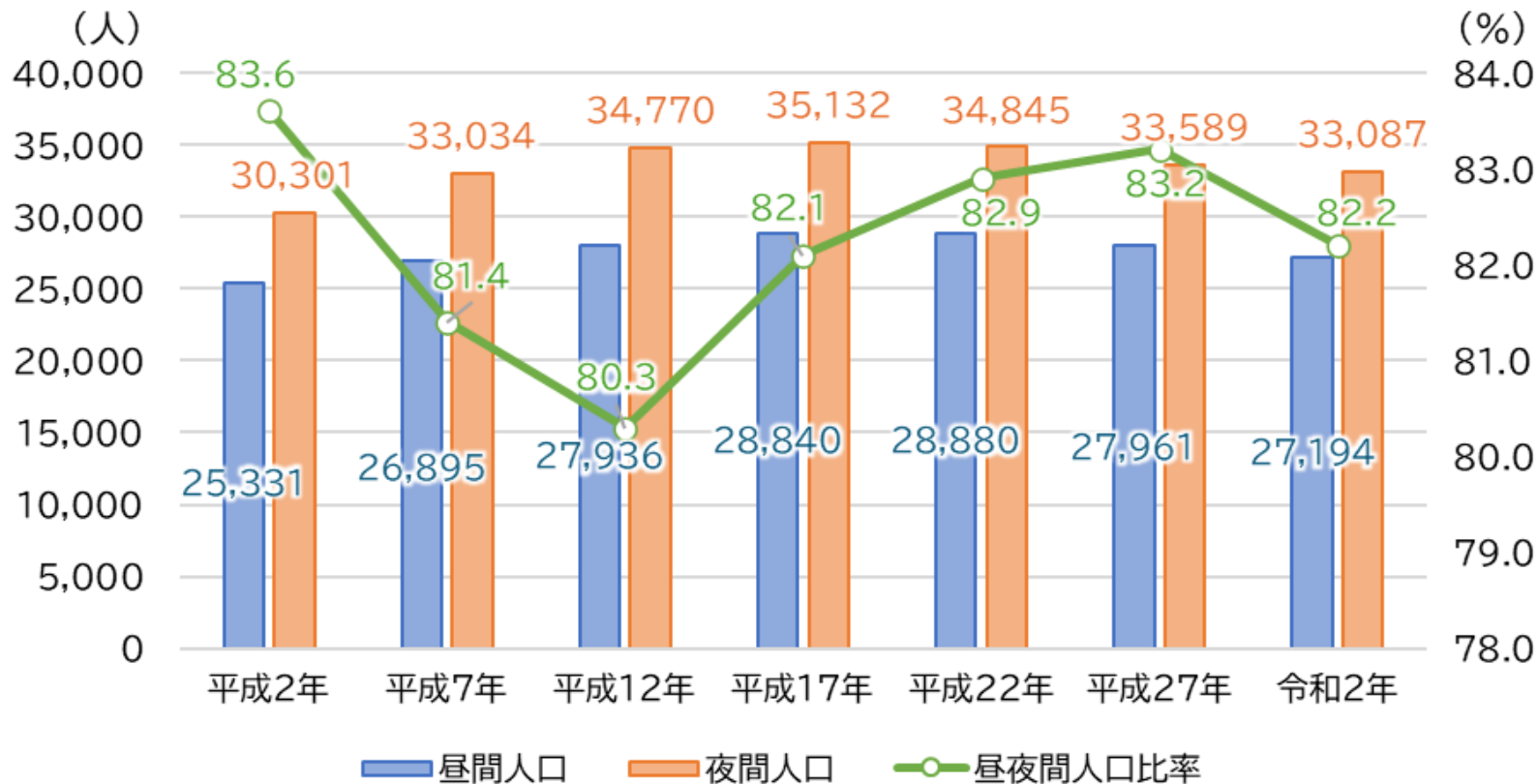
“各地区の世帯数の推移”



出典:国勢調査

地区別の世帯数は、平成26年を1.00とすると、全ての地区で増加傾向にあり、特に逢隈地区が1.27まで増加している。

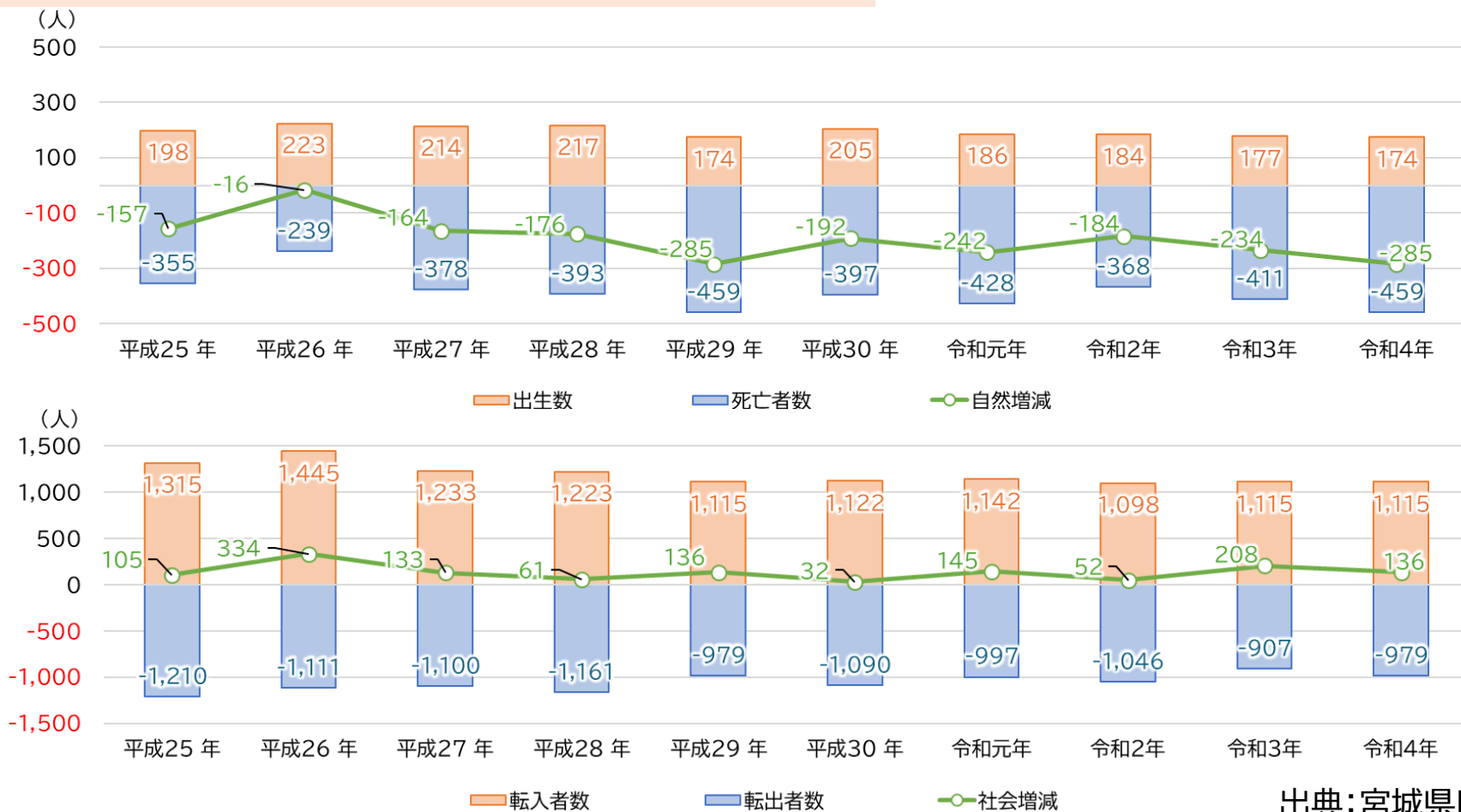
“昼間人口・夜間人口・昼夜間人口比率の推移”



出典:国勢調査

昼夜間人口比率は、概ね82%前後で推移しており、通勤・通学流動では、仙台市、岩沼市、名取市、山元町の順番で多くなっている。(紙面の都合上、順位は非掲載)

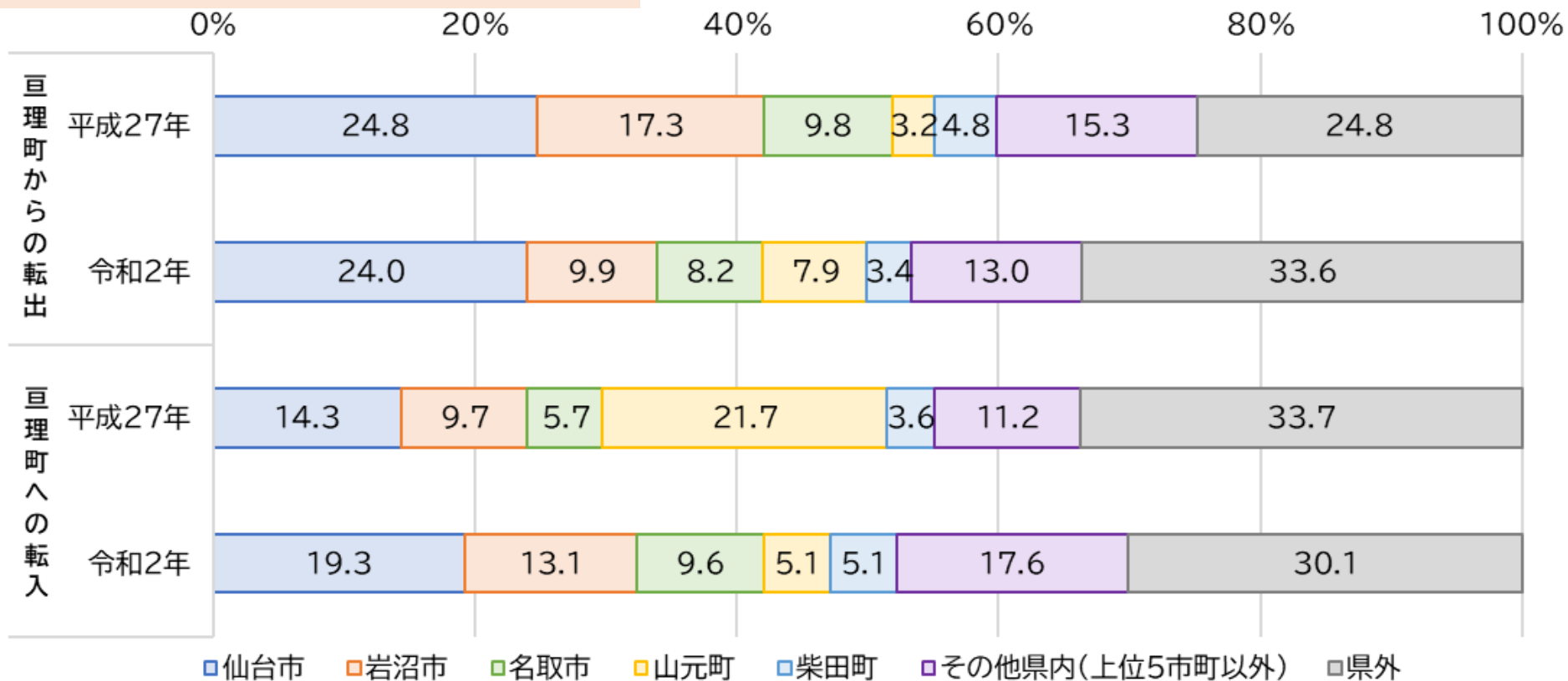
“人口動態（自然動態・社会動態）の推移”



出典:宮城県HP

自然動態の値はマイナスとなっており、社会動態の値はプラスになっているが、社会増加の値を自然減少の値が超過しており、人口減少となっている。

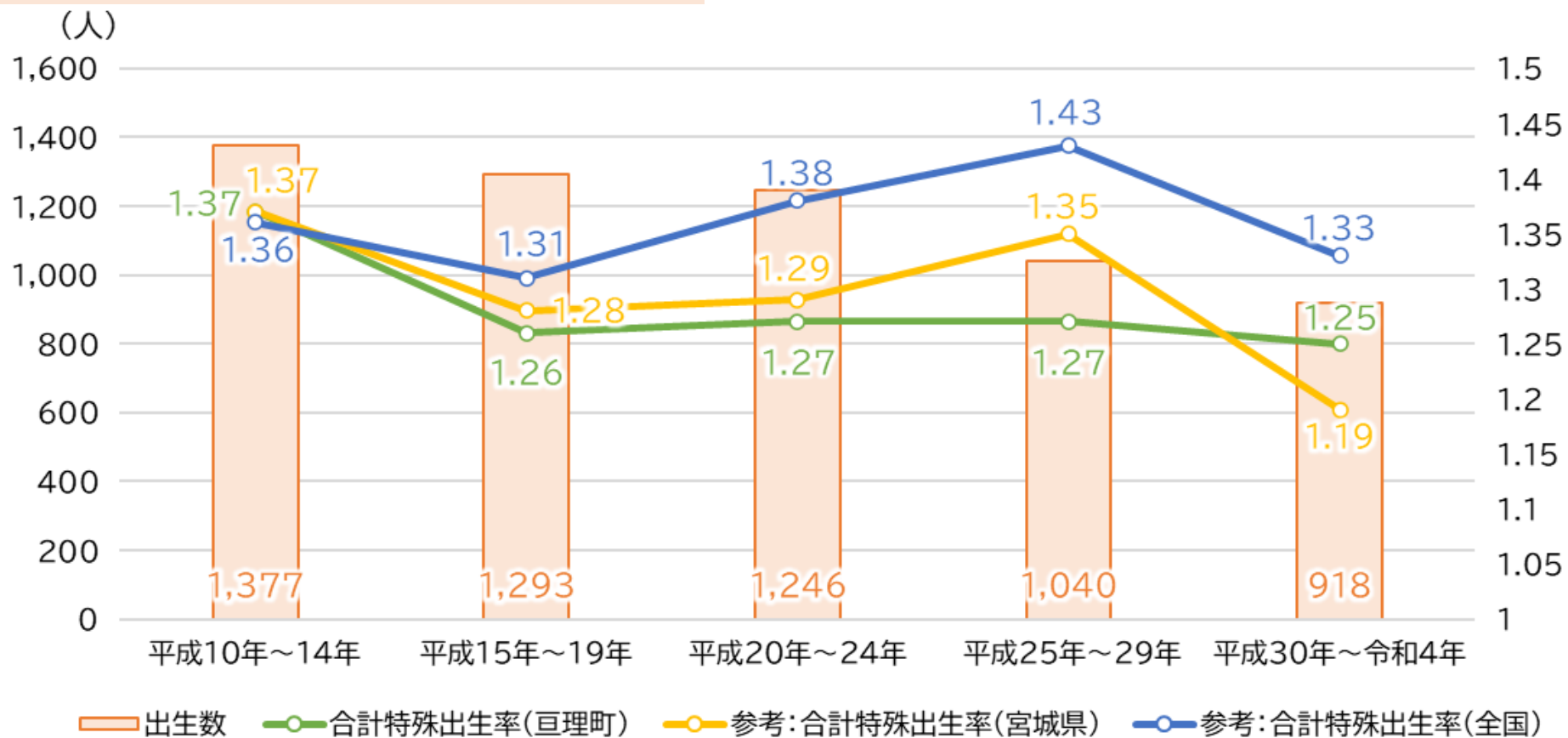
“社会的移動状況の経年比較”



出典：国勢調査

社会的移動状況は、仙台市、岩沼市、名取市といった通勤・通学先の自治体間での移動が多くなっている。転出は県外の割合が増加している一方で、転入は仙台市、岩沼市、名取市の割合が増加しており、近隣市町村からの転入が増加している傾向にある。

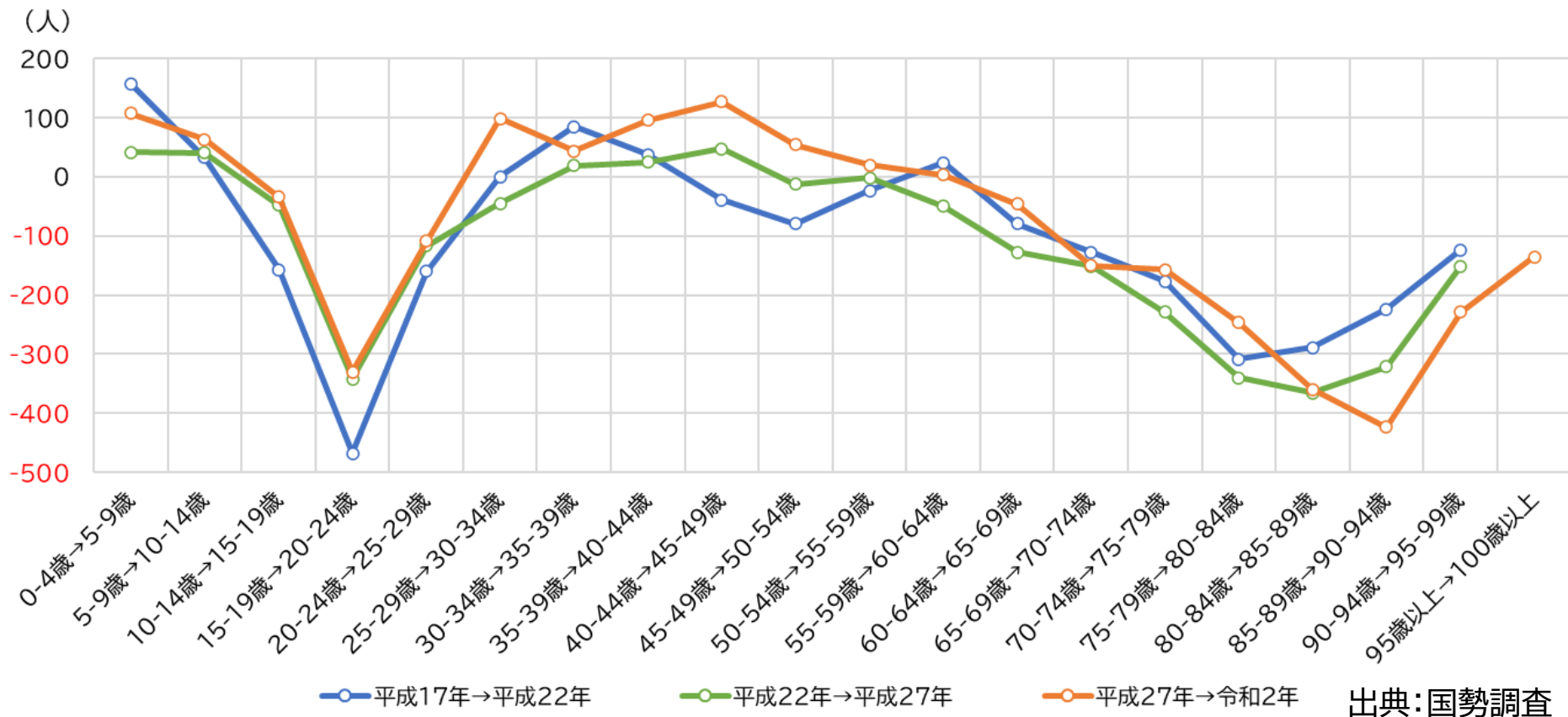
“合計特殊出生率の推移と比較”



出典:国勢調査

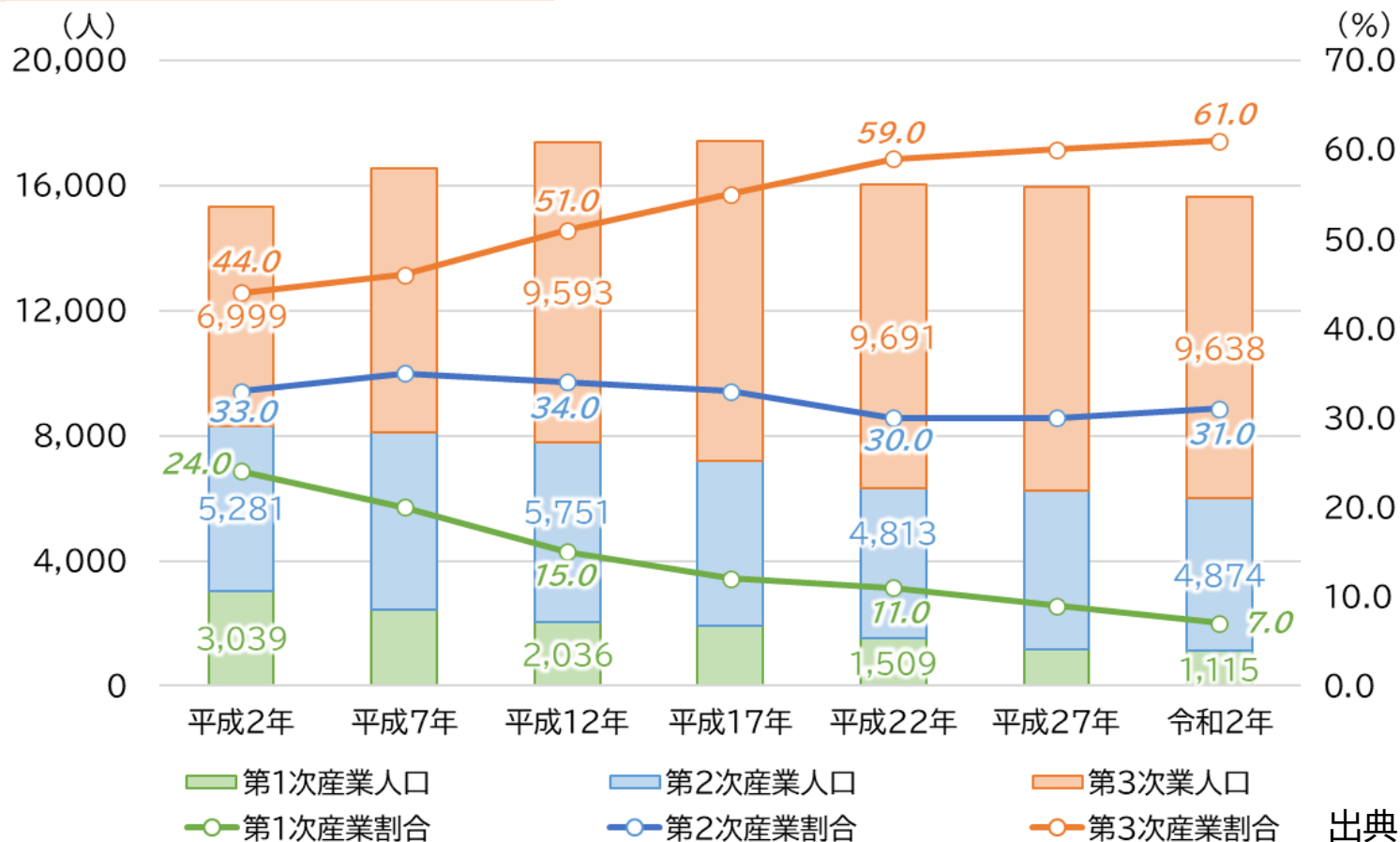
合計特殊出生率は、概ね1.26程度で推移しており、宮城県全体よりも高い水準にあるが、全国よりは下回っている。

“5歳階級別人口の推移”



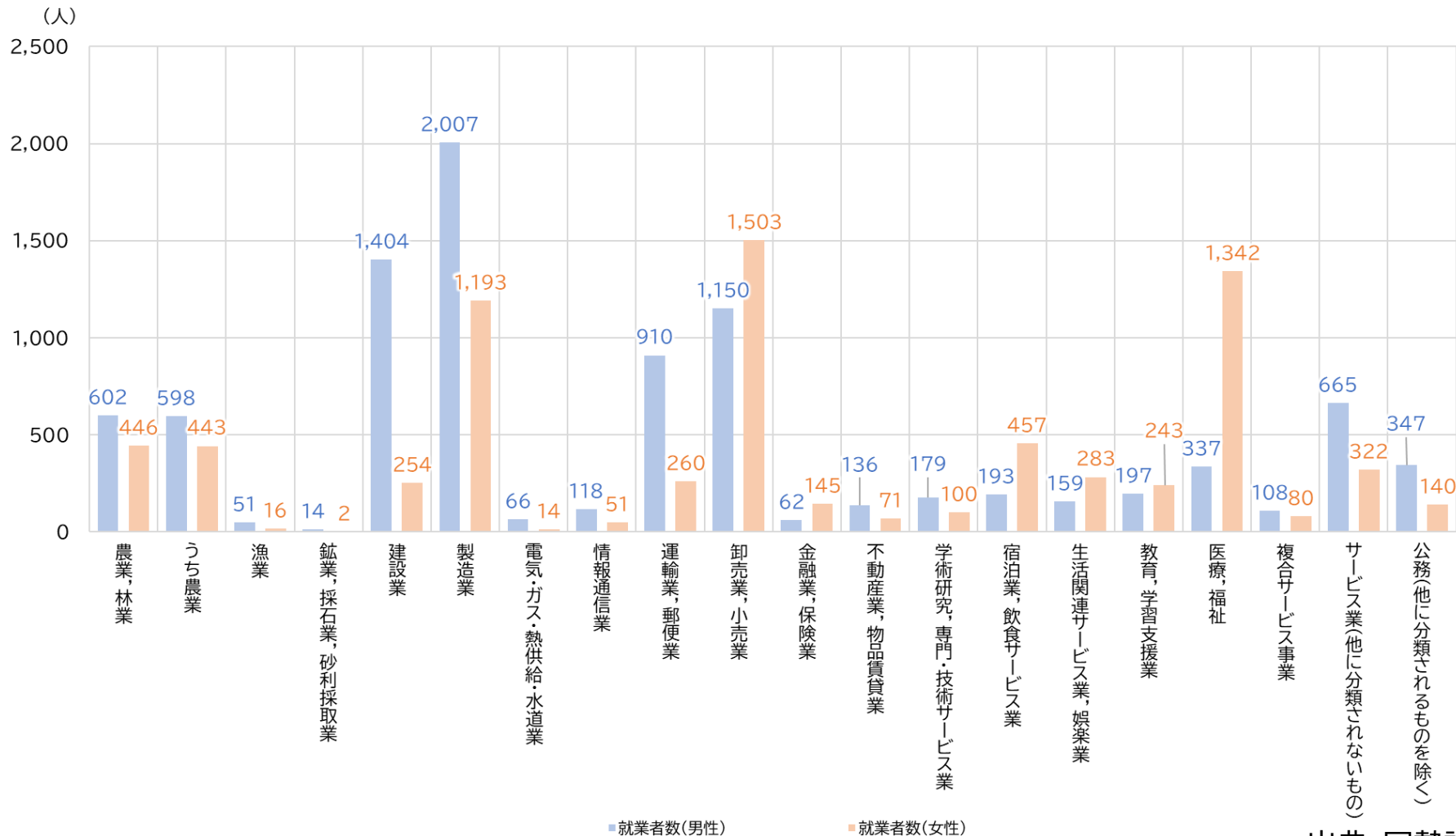
5歳階級別に人口の推移を見ると、若年世代で減少傾向にあるが、年齢層が高くなるにつれて、上昇しているが、60歳以上世代等の高齢者層では、再度減少傾向にある。

“産業分類別就業者数の推移”



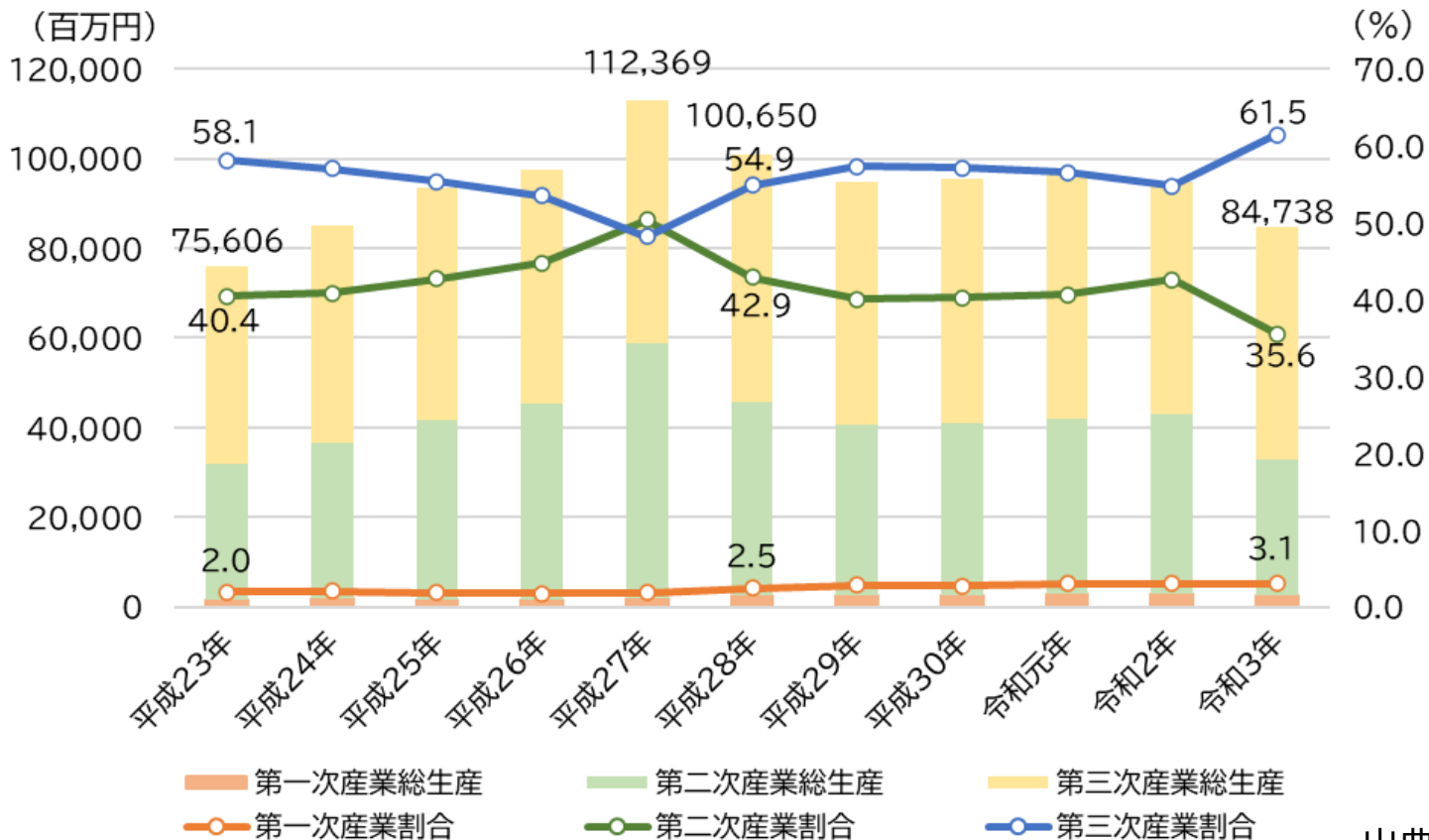
産業分類別就業者数は、総就業者数は平成17年をピークに減少しており、特に第1次産業の減少が大きくなっている。

(参考) “男女別産業別の就業者数(令和2年)”



出典: 国勢調査

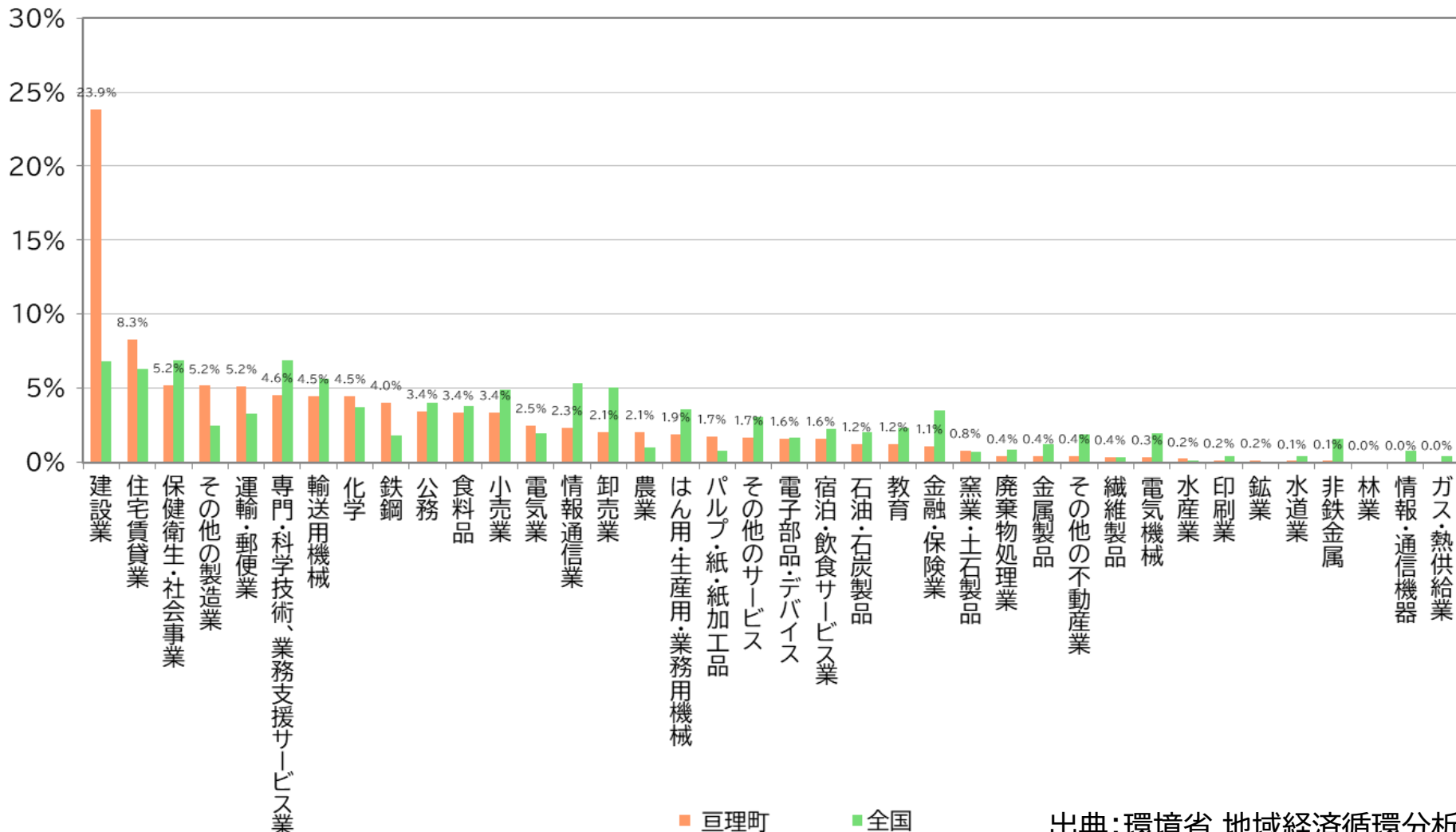
“産業分野別生産額の推移”



出典:国勢調査

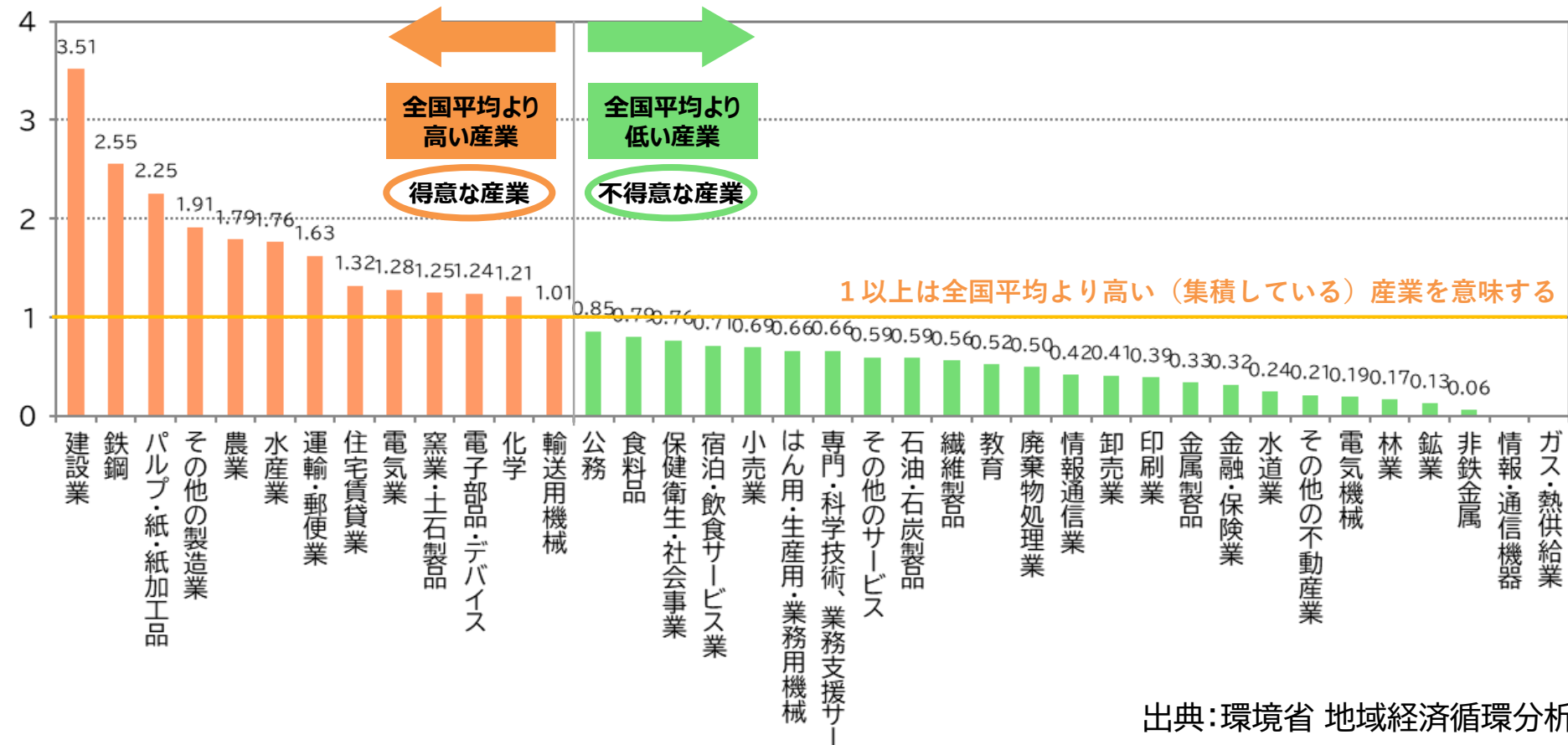
産業分野別生産額は、平成27年をピークに減少傾向にある。第1次産業と第3次産業が占める割合は増加しているものの、第2次産業の割合が減少している。

(参考) “産業別生産額構成比(令和2年)”



出典:環境省 地域経済循環分析

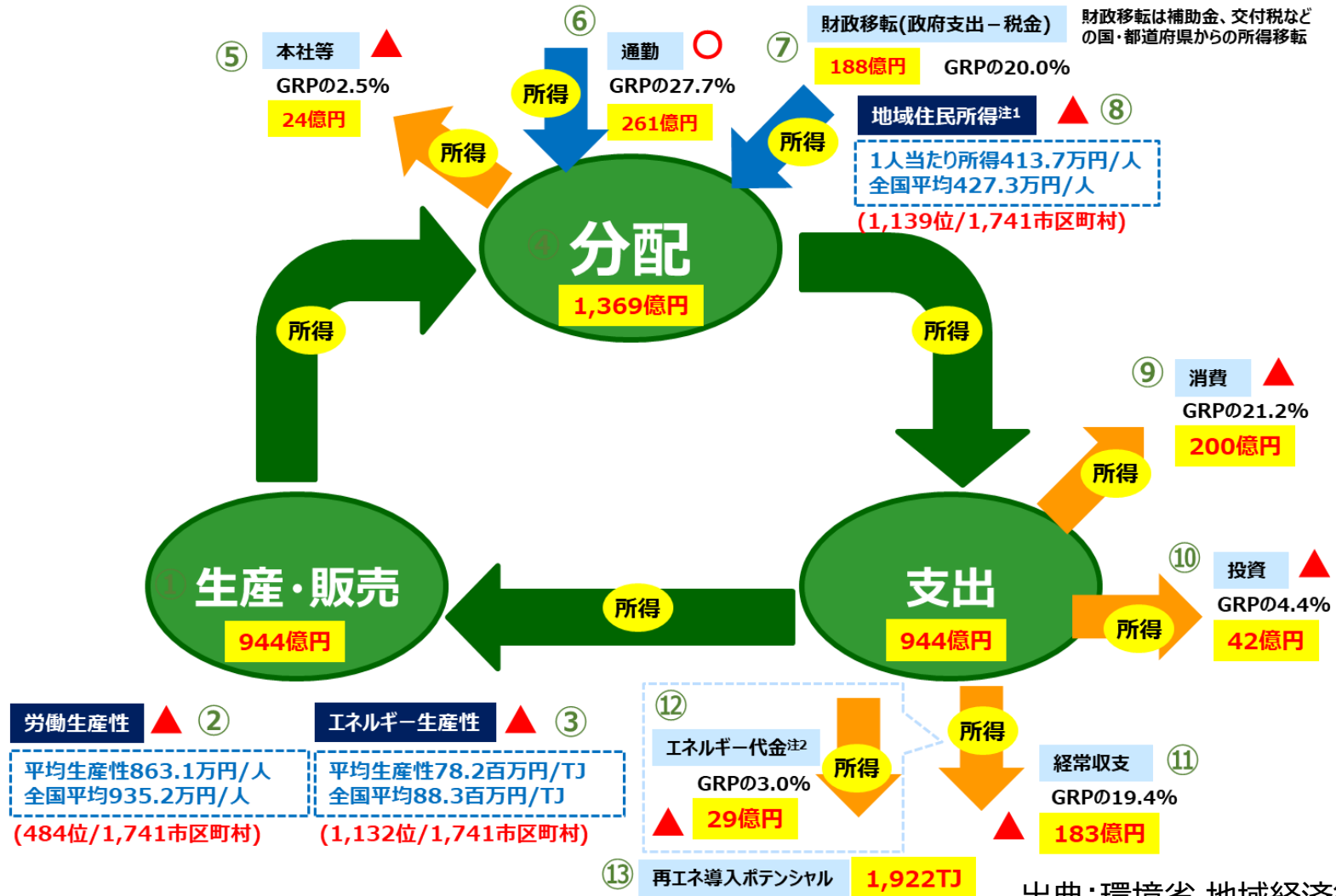
“産業別特化係数(令和2年)”



出典:環境省 地域経済循環分析

産業特化係数によると、農業や水産業となった第1次産業が得意な産業となっているが、就業者数は減少している。

“地域経済循環”



出典:環境省 地域経済循環分析

“地域経済循環”

生産 販売

- ①巨理町では、944億円の付加価値を稼いでいる。
- ②労働生産性は863.1万円/人と全国平均よりも低く、全国では484位である。

分配

- ④巨理町の分配は1,369億円であり、①の生産・販売944億円よりも大きい。
- ⑤また、本社等への資金として24億円が流出しており、その規模はGRPの2.5%を占めている。
- ⑥さらに、通勤に伴う所得として261億円が流入しており、その規模はGRPの27.7%を占めている。
- ⑦財政移転は188億円が流入しており、その規模はGRPの20.0%を占めている。
- ⑧その結果、巨理町の1人当たり所得は413.7万円/人と全国平均よりも低く、全国で1,139位である。

支出

- ⑨巨理町では買物や観光等で消費が200億円流出しており、その規模はGRPの21.2%を占めている。
- ⑩投資は42億円流出しており、その規模はGRPの4.4%を占めている。
- ⑪経常収支では183億円の流出となっており、その規模はGRPの19.4%を占めている。

出典:環境省 地域経済循環分析

4. 亘理町の現況整理

(参考) “各項目の宮城県下21町村との比較”

県下21町村の順位	人口(R2)	増減率(R2/H27)	15歳未満人口割合(R2)	15~64歳人口割合(R2)	65歳以上人口割合(R2)	核家族世帯率(R2)	単独世帯率(R2)	65歳以上の単独世帯率(R2)	高齢者夫婦世帯率(R2)	3世代世帯率(R2)	昼夜間人口比率(R2)	流出人口割合(R2)	出生率(人口千対)(R2)	第1次産業就業人口割合(R2)	第2次産業就業人口割合(R2)	第3次産業就業人口割合(R2)	事業所当たり製造品出荷額等(万円)(R2)	従業員当たり製造品出荷額等(万円)(R2)	事業所当たり年間商品販売額(百万)(H26)	従業員当たり年間商品販売額(百万)(H26)
1	柴田町	大衡村	大衡村	大和町	七ヶ宿町	利府町	女川町	七ヶ宿町	山元町	色麻町	大衡村	七ヶ浜町	大和町	南三陸町	丸森町	利府町	大和町	大和町	女川町	女川町
2	利府町	大和町	大和町	利府町	丸森町	七ヶ浜町	七ヶ宿町	山元町	丸森町	大郷町	女川町	利府町	利府町	七ヶ宿町	加美町	松島町	大衡村	大衡村	南三陸町	大衡村
3	亘理町	女川町	利府町	柴田町	山元町	亘理町	大和町	丸森町	松島町	南三陸町	大和町	大河原町	女川町	色麻町	村田町	七ヶ浜町	柴田町	色麻町	柴田町	大和町
4	大和町	大河原町	大河原町	大河原町	松島町	松島町	柴田町	女川町	蔵王町	加美町	七ヶ宿町	亘理町	亘理町	加美町	大和町	大河原町	涌谷町	蔵王町	美里町	南三陸町
5	美里町	南三陸町	色麻町	七ヶ浜町	大郷町	大河原町	大河原町	松島町	川崎町	蔵王町	大郷町	柴田町	色麻町	涌谷町	大衡村	柴田町	蔵王町	涌谷町	涌谷町	蔵王町
6	大河原町	亘理町	柴田町	亘理町	川崎町	美里町	山元町	涌谷町	七ヶ浜町	大衡村	南三陸町	美里町	柴田町	蔵王町	色麻町	美里町	色麻町	柴田町	亘理町	色麻町
7	加美町	利府町	亘理町	大衡村	南三陸町	柴田町	南三陸町	蔵王町	亘理町	村田町	蔵王町	村田町	大河原町	丸森町	女川町	亘理町	村田町	美里町	大河原町	利府町
8	七ヶ浜町	山元町	大郷町	女川町	蔵王町	山元町	松島町	加美町	美里町	涌谷町	村田町	色麻町	村田町	女川町	柴田町	大和町	加美町	大郷町	蔵王町	涌谷町
9	涌谷町	七ヶ浜町	美里町	村田町	涌谷町	涌谷町	村田町	南三陸町	七ヶ宿町	川崎町	山元町	松島町	大衡村	山元町	川崎町	大郷町	美里町	南三陸町	山元町	柴田町
10	松島町	柴田町	七ヶ浜町	美里町	加美町	大衡村	丸森町	大郷町	涌谷町	丸森町	大河原町	大衡村	大郷町	大郷町	大河原町	村田町	大郷町	村田町	松島町	亘理町
11	丸森町	美里町	加美町	色麻町	女川町	丸森町	涌谷町	美里町	女川町	美里町	加美町	大郷町	七ヶ浜町	大衡村	亘理町	七ヶ宿町	亘理町	亘理町	七ヶ浜町	大河原町
12	南三陸町	大郷町	蔵王町	涌谷町	美里町	川崎町	蔵王町	川崎町	利府町	山元町	丸森町	大和町	南三陸町	美里町	涌谷町	川崎町	川崎町	加美町	利府町	山元町
13	山元町	村田町	村田町	川崎町	村田町	村田町	加美町	村田町	加美町	七ヶ浜町	色麻町	涌谷町	加美町	川崎町	山元町	山元町	利府町	丸森町	大和町	美里町
14	蔵王町	蔵王町	涌谷町	加美町	色麻町	蔵王町	川崎町	大河原町	柴田町	松島町	涌谷町	蔵王町	山元町	亘理町	南三陸町	蔵王町	丸森町	大河原町	大郷町	村田町
15	村田町	色麻町	南三陸町	南三陸町	亘理町	大和町	美里町	亘理町	村田町	亘理町	川崎町	山元町	美里町	村田町	蔵王町	大衡村	大河原町	川崎町	大衡村	七ヶ浜町
16	川崎町	加美町	松島町	松島町	七ヶ浜町	大郷町	亘理町	七ヶ浜町	大郷町	七ヶ宿町	松島町	川崎町	松島町	松島町	大郷町	涌谷町	南三陸町	松島町	村田町	川崎町
17	大郷町	松島町	山元町	蔵王町	柴田町	加美町	大衡村	柴田町	大河原町	大和町	柴田町	加美町	蔵王町	大和町	美里町	女川町	山元町	女川町	色麻町	大郷町
18	色麻町	涌谷町	川崎町	大郷町	大衡村	色麻町	大郷町	大衡村	南三陸町	利府町	利府町	丸森町	涌谷町	七ヶ浜町	七ヶ浜町	加美町	女川町	利府町	加美町	加美町
19	女川町	川崎町	丸森町	山元町	大河原町	南三陸町	七ヶ浜町	色麻町	色麻町	柴田町	美里町	女川町	丸森町	大河原町	利府町	丸森町	松島町	山元町	川崎町	松島町
20	大衡村	丸森町	女川町	丸森町	利府町	七ヶ宿町	利府町	利府町	大衡村	大河原町	亘理町	南三陸町	川崎町	柴田町	七ヶ宿町	南三陸町	七ヶ宿町	七ヶ宿町	丸森町	丸森町
21	七ヶ宿町	七ヶ宿町	七ヶ宿町	七ヶ宿町	大和町	女川町	色麻町	大和町	大和町	女川町	七ヶ浜町	七ヶ宿町	七ヶ宿町	利府町	松島町	色麻町	七ヶ浜町	七ヶ浜町	七ヶ宿町	七ヶ宿町